

やまびこだより

迎春

2022 第54号

目次

- 新年のごあいさつ 2
- 最上広域森林組合直営班を紹介します … 3
- 舟形町 木に親しむ環境づくり … 3
- 加工場より 4
- 組合員の皆様へ 4
- 特産加工場廃止のお知らせ … 4

天然記念物 念仏の松

天然記念物 念仏の松
念仏の松は、古来より出羽三山参詣の道を通り、新庄峠を越え、この松の下に三山の方向に向けて念仏を唱えたことから名付けられたものである。最上町から新庄へ向ける道は、舟形回り、新庄峠越え、亀割峠越え、内山通りであった。舟形回りは、公的な道として利用され、舟形下まで最も遠かった。又亀割峠越えは、新庄まで最も近い道であるが、亀割山を直線的に登り下りする峻険な山道であった。これらの中で新庄峠越えは、新庄鳥越村へ向ける道であって往來が最も頻繁だったといわれる。この道には茶屋もあり、番主のお成り道でもあった。念仏の松は、この道の側にいる。然し寛永三年（一八五〇）瀬見村佐藤康大夫により、新庄峠越えの開削大改修が行われた際、密蔵を委託し、この松の根を通らなくなった。かつて道者たちは、旧新庄越えを通り新庄へ出て、本合船の舟上川を下り、古口を経て角山口より出羽三山へ参詣した。念仏の松は、幹廻り四メートル樹高約三〇メートル、樹令約五百 years 経たてある小田川の絶壁に立ち今尚往時の姿をしのびしめる。
撰文 浦口 〇
舟形町教育委員会

新年のごあいさつ

最上広域森林組合 代表理事組合長

佐藤 景一郎



謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、組合員各位に於かれましては、日頃から森林組合の活動に對しまして、深いご理解とご協力を賜りまして、改めまして感謝と敬意を表するものであります。

昨年を振り返ってみますと、令和三年は、新型コロナウイルスが、我々の生活全体に大きく影響を及ぼした一年でありました。

年明け早々の一月に緊急事態宣言&まん防が発出され都内では五〇〇〇人を超える感染者数にまで及びました。そんな中、七月には東京オリンピック・パラリンピックが開催され日本中が不安と希望の色に染まりました。一方、木材業界は、七月あたりからウッドショックといわれる現象になり、木材価格の高騰が始まりました。これは、新型コロナウイルスの影響で主に米国において住宅産業が活気を帯び木材不足となりました。それに伴って日本向けの米国の梁材や桁材が不足し、これに輪をかけて運搬のためのコンテナ不足が重なり、国産材にシフトする動きが大きくなったために需給バランスが崩れ、価格の上昇につながりました。これによって、大手ハウスメーカーはじめ地元のビルダーの新築住宅の建築費が上昇しました。

一方、国産原木丸太の生産は、全国的に見て二割程度の素材生産量が増加しましたが、県内の生産量は、全国平均よりも少ない増加率の予想が出て来ております。また、これを受けて、原木価格の買い入れ価格や共販市場の価格上昇は、全国的なウッドショックの発生時より若干遅れ夏ごろに上昇致しました。

同時に、伐採搬出経費が上昇した影響で、原木山元価格は、製品価格に比較すると、上昇率は低く感じられます。川上サイドとしては、依然として厳しい状況にあります。現在は、新たに国産合板の流通価格が上昇しております。これは、丸太価格の上昇はもちろんです。接着剤の価格上昇やウッドショックで製品の輸入が減り国産製材品の代替え需要が急増、合板向けよりも高く売れる製材品向けに丸太が流れていることによって高騰したもので合板ショックなどと呼ばれております。

コロナの影響はいたるところで木材業界にも波及しており、今後の経済回復が予想される中であって注視していかねばならないと感じております。

人材の育成の関係では、オール山形で県内各層の有志が結集して農林業専門職大学を後押しして参りました、その結果、予定よりも一年延長になりましたが、県立四年制大学として令和六年開校の運びになりました。「東北農林専門職大学」として、新庄市の農林大学校に隣接した場所に建設する事が決まりました。我々林業界にとって待望の四年制大学が開校すれば、国際的にも通用する人材の育成や林業の社会的地位の向上に大きく貢献できる人材が林業界にもたらす効果は計り知れないと期待しております。

また、この専門職大学は、県内のみならず全国から学生が集まる事を目指しており、最上地域のみならず県内全域の発展と活性化に貢献する事だと認識しております。我々森林組合においても、専門職大学及び付属農林大学校の実務実習の場や卒業後の就労の場になるように自らの研鑽に努めていく年になると考えています。

林業界では、森林所有者の経営意欲の低下や所有者不明森林の増加等が懸念される中で、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を推進するため、森林の経営管理を市町村や意欲と能力のある民間事業者によって持続的に行う措置を内容とする「森林経営管理法」の成立があり、譲与税が各市町村に譲与され、その運用に方針が出て来ております。各市町村には、温度差があるものの、森林組合が中心になって、より有効に森林が活用されるように、市町村にアドバイスして参りましたが、お陰様をもちまして、「経営管理事業に関わる基本方針策定業務委託事業」の契約を締結させていただいた自治体が複数あり、現在、意見交換しながら、より現場に合った方策に向けて努力しており、他の市町村におかれましても、徐々にご理解を得ていくように努力していこうと考えております。

また、地球温暖化防止の問題で、二〇五〇年のカーボンニュートラルに向けて二酸化炭素吸収減の森林の見直しは、世界的にも大きく取り上げられ、ますます、その重要性が認識されることと考えており、森林整備予算の拡充に向けて運動して参ります。

このように、コロナ禍の令和四年になりますが、かじ取りを誤ることなく、組合員の皆様とともに林業の再生・地域の再生に頑張つてまいる所存であります。今後ともよろしくご指導頂きますようお願いをし、組合員皆様の一層のご多幸をご祈念して年頭のご挨拶と致します。

最上広域森林組合直営班を紹介します



左から
 高橋 慎治
 高橋 利幸
 庄司 智輝
 舟生 康昭
 藤田 翼

職員の紹介

林産振興課係

藤田 翼

私は、現場でハーベスタのオペレーターをしております。伐倒等の作業は危険が伴うため、常に周囲に目を配り安全作業を徹底しております。また、皆伐や間伐等の現場では組合員・森林所有者の皆様にも少しでも利益を還元できるように工程や造材を工夫し、丁寧な作業を心掛け日々精進しております。



今後は、林業の幅広い分野においての知識・経験を積んで自分自身で森林経営を担う人材になれるよう努力してまいります。

林産振興課係

庄司 智輝

自然を相手にする現場作業は、楽しさと同時に厳しさもあります。夏場の暑さや冬場の手足の冷たさは、まだまだ慣れません。現場では、フォワーダで運搬作業を行っております。作業中は「怪我をしない・怪我をさせない」ために周囲の状況をよく確認して落ち着いて作業するように常に心掛けております。



山で自然に囲まれながら身体を動かし、汗をかいて仕事ができる環境はとても贅沢だと感じております。

舟形町 木に親しむ環境づくり

～やまがた緑環境税を活用した町内ベンチの木製化プロジェクト～

舟形町内の中学生を対象に身近にある木に触れ、木材や木製品の良さへの理解を深めることを目的として、例年、木製のベンチキットの組立を実施していましたが、新型コロナウイルス感染防止のため、ベンチキットの組立を中止し、勉強会を開催しました。当組合で、森林整備課奥山君を講師として派遣し、県内の木材がどのように利用され、日常生活に役立てられているかを説明しました。



加工場より

春の植菌の時期が近づいています 種駒及びオガ菌の購入なら当組合に!!

森産業

1,000 ケ入 (9.2mm)

税込 **3,630円**

なめこ1号 晩生、なめこ2号 中生
なめこ3号 早生、しいたけ 290号



余目河村

500 ケ入 (8.5mm)

税込 **1,793円**

なめこ、しいたけ、ブナカノカ、ヒラタケ
ムキタケ、クリタケ、エノキタケ、キクラゲ
タモギタケ

※その他、大貫・日本きのこセンター等もご希望により取り寄せ可能です。
(少量の場合は送料が個人負担となる場合があります。お早めにご連絡下さい)



特産加工場廃止のお知らせ

平素より加工場をご利用いただきありがとうございます。
さて、突然ではございますが、令和4年3月31日をもって特産加工場を廃止する運びとなりました。

昭和44年の創業以来、地域の皆様に支えられて特産加工場を続けてまいりましたが、諸般の事情により操業を断念いたすこととなりました。これまで皆様から賜りましたご愛顧に心から感謝申し上げますとともに、ご迷惑をおかけしますことを深くお詫び申し上げます。

※ご購入品（林業用資材・苗木等）については、特産加工場廃止後も販売いたしますのでよろしくお願いたします。



組合員の皆様へ

1. 組合員のメリット

組合に委託した造林・下刈り・除伐・間伐・皆伐等の施業において、手数料等を低く抑えられるなどの優遇が受けられます。また、組合員の方々には年2回広報を送付しております。

山を手入れしたいなどのご相談等ございましたら、組合までご連絡下さい。

2. 名義変更について

下記の事項が生じた場合、組合員資格に係る届出(手続き)が必要となります。該当される方は当組合までご連絡下さい。

- (1) 名義人死亡による相続
- (2) 住所変更
- (3) 譲渡
- (4) 共有林の代表者の変更

現在、組合員台帳に登録されている住所・氏名で広報等を郵送した際、宛先不明等で返送されてしまう組合員が多数おられます。組合員台帳を更新する上で大切な届出(手続き)となりますので、ご協力をお願いいたします。

最上広域森林組合

TEL 0233(62)2102 FAX 0233(62)2953

メールアドレス soumu@mogami-morikumi.or.jp
HPアドレス mogami-morikumi.or.jp

